

受け継ぐ 備テーマ

群馬県設備設計事務所
協会の坂田伸也会長は冒
頭「きょうは医療設備の

最新の情報を教えていた
だ。仕事に役立てられ
るよう、しっかりと聴講
してほしい」と話した。
講習は、セントラルユ
ニ（東京都文京区）から
プロシエクト推進部早期
離床チームの上田柳々美
氏が「近年の集中治療室

の役割と必要設備の考え
方」、工事技術部技術管
理課の山本修一課長補佐
が「医療ガス設備のBC
Pを考えた災害対策」を
テーマに実施。最新設備
に求められる役割や過去
の事例を踏まえた対策な
ど丁寧に解説した。

鉍毒刻む碑周辺で 松手入れボランティア

太田造園協力会



山田代表理事

協同組合太田造園協
会（山田忠雄代表理事）



板橋会長

は19日、太田市只上町地
内で「祈念鉍毒根絶の碑」
周辺の松の手入れボラン
ティアを実施した。当日



碑周辺の松を剪定

は同会員など25人が参
加。足尾銅山を原因とす
る鉍毒被害克服への人々
の努力に思いを巡らせつ
つ、剪定や落ち葉の片付
けを行った。

活動を前に山田代表理
事は「先人の方達のおか
げで被害地の修復が進め
られた。こ

こは日本に
おける公害
の原点とも
言える。そ
のような歴
史的背景を
意識しなが
ら、作業に
当たっては
しい」と話
した。また、

渡良瀬川鉍毒根絶太田期
成同盟会の板橋明会長は
「この記念碑は環境保護
を訴える一つの象徴とな
っている。皆様のボラ

ンティア活動に対し、厚
く御礼を申し上げる」と
述べた。
足尾鉍毒根絶運動の歴
史を伝える同碑は1977

7年に建立。板橋会長の
父、故板橋明治氏は原因
企業との訴訟を主導する
など、鉍毒問題解決へ尽
力した。

20年度整備目指し 東毛広幹道BRT導入

東毛広幹道BRT導入

県は、東毛広域幹線道
路沿いのBRT導入に
ついて、2021年度の
運行開始を目指し、20年
度にインフラ整備を進め
る計画であることを明らか
にした。19年度当初予
算案には構想調査費73
00万円を計上、停留所
の詳細設計や導入区間の
優先度調査などを行う。
年度内にインフラの概
算事業費や収支面で実現
可能な運行計画案などを
まとめた全体計画を取り
まとめる。

市町の既存バス路線と
結節し、新たな公共交通
として創出することを目
的に計画。沿線市町やバ
ス・鉄道事業者、有識者
などで構成する策定協議
会にて検討しており、利用
動向の把握などを実施。
道の駅などのBRT停留
所となる乗り継ぎの結節
点の抽出を終えたところ
となる。

3月中に指名通知

森林川森

前橋市柏倉町で流路工

県茨川森林事務所は前
橋市柏倉町の横山地区内
で流路工を3月中に指名
通知する。全体延長30
0mのうち60mを発注す
る。
施工箇所は県道353
号線の南側。3面張りア
（前橋市）

は群馬県森林連合組合
は群馬県森林連合組合
は群馬県森林連合組合